

プロジェクト代表者	猪俣陽介(一般・消化器外科学・大学院生)
共同研究課題名	microRNAによるエリブリン抗腫瘍効果機構の解明
目的	進行乳癌は各種抗癌剤を用いた化学療法が用いられるが、奏効率は30-60%程度であり依然として予後不良である。微小管重合阻害剤である新規化学療法剤エリブリンの作用機序として考えられている上皮間葉転換(EMT)抑制作用をmicroRNA(miRNA)から、解析し、エリブリンによる乳癌治療の適正化を図る。前年度研究課題の継続により、有用な知見の産出に努める。
内容	本学では基礎実験から検体収集及び検体における解析を実施する。基礎実験ではヒト乳癌細胞株を用いた、細胞培養実験を申請者中心に施行する。乳腺・内分泌外科学教室ではエリブリン投与患者における、患者サンプル(血液、腫瘍組織)を収集し、TR部門で管理する。学外共同研究先である、大阪南医療センター乳腺外科では、エリブリン投与患者における血液サンプルを中心に収集する。研究結果に関しては、共同研究者全員で結果の考察と継続実験の計画を立案する。
学内共同研究者	内山和久(一般・消化器外科学・教授)
	岩本充彦(一般・消化器外科学・特別任命教員教授)
	谷口高平(一般・消化器外科/TR部門・助教/副部門長)
	木村光誠(一般・消化器外科学・講師(准))
学外共同研究者	田中 覚(大阪南医療センター・医長)
研究費	1,000,000 円